

令和6年度 札幌市公共事業（国土交通省所管補助事業及び交付金事業）再評価対象事業に係る対応方針一覧表

	番号	事業種別	補助金（交付金）名 事業名	対象事業選定理由 （※1）					事業の経緯			総事業費 （百万円）	B/C （※2）	その他の指標による評価	経緯	札幌市 対応方針 （※3）	決定理由等
				①	②	③	④	⑤	事業採択 年	工事等 着手年度	完成予定 年						
委員会 審議事項	1	街路事業	社会資本整備総合交付金事業 札幌圏都市計画道路事業 3・4・619号 石山・穴の沢通		○				H27	H27	R9	1,612	1.6	・カーブやくい違い交差点の解消により、交通円滑性や安全性が向上する ・拡幅により歩行者や自転車の安全性、快適性が向上する ・堆雪幅の確保により年間を通じて走行性が向上する ・災害時の代替路が確保される	第28回札幌市公共事業評価検討委員会において、“継続”と審議（R7.1.10）	継続	道路の拡幅により、1年を通して円滑な交通が確保されるとともに、歩行者や自転車の安全性、利便性が向上するなど、高い事業効果が見込まれることから事業継続とする。

※1 対象事業選定理由については、次のいずれかに○印。

- ①は、事業採択後、一定期間が経過した時点で未着工の事業（一定期間とは5年間）
- ②は、事業採択後、長期間が経過した時点で継続中の事業（長期間とは補助事業においては5年間、交付金事業においては10年間、継続中の事業には一部供用されている事業を含む）
- ③は、準備・計画段階で一定期間が経過している事業（一定期間とは5年間）
- ④は、再評価実施後、一定期間が経過している事業（一定期間とは5年間、下水道事業は10年間）
- ⑤は、社会経済の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要性が生じた事業。

なお、国際競争拠点都市整備事業については、国の再評価実施要領細目に基づき、全ての補助対象事業をまとめて一つの事業単位として再評価を実施。

（各事業の対象事業選定理由は統一して記入。）

※2 B/Cとは、費用便益比のことであり、費用(Cost:用地・工事費、維持管理費)と便益(Benefit:事業実施による効果を貨幣換算化したもの)との比で表されます。

道路・街路・区画整理事業の便益には、移動時間が短縮されることや交通事故が減少することなどによる効果があります。

河川事業の便益には、洪水氾濫が防止されることにより、災害による被害を減少できるなどの効果があります。

B/Cが1.0以上（便益≧費用）あれば、投資効果があることとなります。

※3 対応方針については、「継続」「見直し継続」「中止」のいずれかを記入。